

聚谷市立深谷小学校 深谷幼稚園 令和3年1月6日

あけましておめでとうございます。本年もおいしく楽しい給食をお届けできるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

さて、いよいようの学年で過ごすのも最後となる3学期が始まりました。休み明けは、朝起きるのがつらくなったり、体がだるくなったりする人も多いようですが、これは生活リズムが崩れたために起こります。「早寝・早起き・朝ごはん」で、生活リズムを整え、元気に登校しましょう。

1月18日~22日

器合小学院给食週間です

1月18日から22日は、深谷小学校給食週間です。

日本の学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡市で始まり、全国に広がっていきましたが、戦争で中断されました。戦後の食糧難で子供たちの栄養状態が悪化すると、給食の必要性が叫ばれ、海外からも物資寄贈の申し出がありました。これを受け、学校給食が再開されたのです。世界中の人々からの温かい支援に感謝するとともに、教育の一環として行われる学校給食の意義を考え、その発展を期して、毎年全国的に学校給食週間が実施されています。

この期間には、学校給食の歴史や給食の役割、食文化についてなど、さまざま取組が行われています。食べものや作る人々の思いに感謝し、食べることの大切さについても考える機会としています。ご家庭でも、毎日の食事に込められた思いや、食事の大切さについて、折にふれてお話ししていただければと思います。

東京大学大学院 コロナ禍による食事調査のご協力ありがとうございました

今年度は、深谷小学校の3年生から6年生に、東京大学大学院の佐々木教授による「コロナ禍休校時における家庭内の食事の変化に関する調査」にご協力いただきました。全体の結果は、まだ大学からいただいていませんが、給食がある期間と、ない期間の栄養素摂取の違いを知ることができることは、これからの深谷小学校の食育指導に大いに役立ちます。

ご協力ありがとうございました。

1回目の結果についての食に関する相談等ありましたら、栄養教諭佐々木までご連絡ください。

行事食を知ろう!

給食では、 12日に鏡 開き献立の お雑煮です。

「鏡開き」とは、お正角に神様におそなえしていた「鏡もち」を下げ、それをいただく行事です。1月11日に行われるところが参いですが、ちいきによっては、ちがう自に行われています。「鏡もち」を、木づちなどでこまかくして、「しるこ」や「ぜんざい」、

「ぞうに」などにして、いただきます。





神様におそなえした「競もち」をいただくことで、『1年間、病気をしないで完気にすごせますように』との願いが、こめられています。

3年生深谷ねぎの収穫

12月16日、3年生が篠崎元校長先生ご指導のもと、たくさんの葱を収穫しました。収穫したねぎで、給食のレシピを作ってくれた金井さんを紹介します。とてもおいしそうに作れたようすがわかりますね!





材料 (4人分)

鶏胸肉皮なし・・・200g 塩 こしょう・・・少々 マヨネーズ 20g ねぎ1/2本ポン酢じょうゆ・・大さじ1

作り方

- 1 鶏肉は、食べやすい大きさに切ります。
- 2 葱は小口切りにします。
- 3 鶏肉をマヨネーズ・ポン酢しょうゆ・塩こしょう・ねぎで混ぜて、下味をつけます。
- 4 オーブンで火が通るまで焼きます。(ねぎも肉にのせて焼きましょう) *フライパンでふたをして、蒸し焼きにしてもよいです



ふかや園芸協会のみなさんから深答ねぎのプレゼント!

ふかや園芸協会とは、深谷市内の農家の方々のグループです。市内29校の子供たちに、ブロッコリー・ほうれん草・ねぎを無償でプレゼントしてくださっています。1月は、深谷ネギを提供してくださいます。深谷小学校では、27日の給食で「ねぎぬた」、「ふっかちゃんの絆焼き鳥」に使用し、子供たちに地場産野菜を紹介し、地産地消の大切さを伝えていきたいと思っています。今月もふかや園芸協会の方々に感謝して、いただきます!